

平成 28 年 7 月

関係各位様

2016 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会及び表彰式
開催のお知らせ

建設マネジメント委員会

土木学会 建設マネジメント委員会（委員長 三百田 敏夫）では、多数の研究小委員会（2016 年度：14 テーマ）を設け、建設マネジメントに関する研究活動を実施しております。これらの研究成果を広く社会に還元するため、本年も表彰式と併せて研究成果発表会を開催します。貴組織の関係者の皆様にもご案内いただければ幸いです。多数のご参加をお願いいたします。なお、本発表会は「土木学会認定 CPD プログラム」の対象となっております。

行 事 名：2016 年度 建設マネジメント委員会 研究成果発表会・表彰式

行事コード：45605

主 催：土木学会 建設マネジメント委員会

日 時：平成 28 年 8 月 2 日（火）13:00～17:50（終了時刻は変更する可能性があります）

場 所：土木学会講堂 新宿区四谷 1 丁目（外濠公園内）TEL 03-3355-3559

参 加 費：無 料（資料代 1,000 円）

定 員：120 名（申込先着順）

申 込 方 法：土木学会行事の HP (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) からお申し込み下さい。

申込締切日：平成 28 年 7 月 22 日（金）

問 合 先：土木学会 研究事業課 建設マネジメント委員会担当：丸畑

TEL：03-3355-3559 / E-mail：maruhata@jsce.or.jp

詳 細：発表会プログラムは次頁以降参照。

2016年度 建設マネジメント委員会

研究成果発表会及び表彰式

主催:土木学会 建設マネジメント委員会

日時:平成28年8月2日(火) 13:00~17:50 (終了時刻は変更する可能性があります)

場所:土木学会講堂

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3559

(JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分)(<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>にて地図を入手できます。)

参加費:無料(資料代1,000円)

申込:下記のページからお申し込み下さい

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)

13:00~13:05

開会の挨拶 :建設マネジメント委員会 三百田 敏夫 委員長

【表彰式】

13:05~13:15

表彰発表 :表彰小委員会 松本 直也 小委員長

13:15~13:20

表彰状授与 :建設マネジメント委員会 三百田 敏夫 委員長

13:20~13:40

論文賞・論文奨励賞 受賞論文概要紹介

13:40~13:50

グッド・プラクティス賞 概要紹介

13:50~14:00

優秀講演賞 受賞者紹介

14:00~14:15

休憩

【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。

| | |
|---|---|
| 14:15~14:55 | インフラ PFI/PPP 事業の体系的効果計測手法の開発に向けて ~VFM 評価手法の現状課題と研究展望 |
| <p><テーマのポイント></p> <p>最新の学術的知見を踏まえ、現行の VFM 評価手法の課題を整理し、より望ましい VFM 評価手法確立に向けた今後の研究展望を示す。</p> | |
| <p><発表内容></p> <p>PFI 適用に係る従来の VFM 評価方法は、必ずしも厳密な理論的背景を踏まえているわけではなく、PFI により、単純にライフサイクル費用が削減されるというアドホックな前提に基づいている。さらに、PFI 事業の「事前の」VFM 評価手法は存在しているものの、「事後の」VFM 評価手法は確立されていない。</p> <p>本研究発表では、PFI の VFM 発生構造に関する最新の学術的知見を踏まえて、現行の VFM 評価手法についての現状課題を整理する。さらに、わが国では PFI 導入期に行われた事業が第 1 期終了を迎えつつある中、経験的データを活かした事前・事後 VFM 評価手法の確立に向けて研究展望を示す。</p> | |
| インフラ PFI/PPP 研究 小委員会 (第 1 種) | 宮本 和明 (東京都市大学)、長谷川 専 (三菱総合研究所) |

| | |
|---|--|
| 14:55~15:25 | 公共工事発注者のあり方研究小委員会の研究成果報告 |
| <p><テーマのポイント></p> <p>公共工事品確法改正を踏まえた「発注者の役割の見直し」及び「価格決定構造の転換」について論じる。</p> | |
| <p><発表内容></p> <p>公共事業執行システムの抜本改革を進めるためには、品確法改正を踏まえて 1)発注者のあり方を明確にすることにより、事業の種類・規模、発注方式に応じて必要な発注者の体制を確保すること、さらに、2)入札から支払いに至るコスト管理のしくみ、現場の最前線で働く技能労働者の賃金決定のしくみ、そして元下関係など価格に関する商慣習や制度を海外の仕組みも参考にして見直すことにより、予定価格制度の見直しと併せて価格決定構造を民主体のものへと転換することが必要と考えられる。</p> <p>本研究小委員会はその抜本改革のための方策を検討したものであり、これまでの 2 年間の研究成果を報告する。</p> | |
| 公共工事発注者のあり 方研究小委員会 (第 1 種) | 木下 誠也 (日本大学)、井上 雅夫 (株式会社 建設技術研究所)、和田 祐二 (一般財団法人 経済調査会) |

| | |
|--|---|
| 15:25~15:40 | 環境修復事業を介したマネジメント手法・環境教育・グローバリゼーションに関する調査研究(中間報告) |
| <p><テーマのポイント></p> <p>当委員会では、マネジメント手法、環境教育及びグローバリゼーションの 3 つを重要研究課題と考え、その 3 つに対し特殊性が高い環境修復事業を介し調査研究を行っている。今回は中間報告である。</p> | |
| <p><発表内容></p> <p>○環境修復事業の特殊性</p> <p>○CM (コンストラクションマネジメント)、PM (プロジェクトマネジメント)、PgM (プログラムマネジメント) 及び PfM (ポートフォリオマネジメント)</p> | |

ト) の現状と課題

- 環境教育の現状と課題
- グローバル化の進展に伴う現状と課題
- 様々な事業に対する研究成果の活用検討

**環境修復事業マネジメント研究小委員会
(第2種)**

下池 季樹 (国際航業株式会社)

15:40~15:55

休 憩

15:55~16:15

**発注者の立場における技術公務員の役割と責務
～ 研究一年目の成果と今後の予定 ～**

<テーマのポイント>

都道府県ならびに政令指定都市に勤務する技術公務員を対象として、技術公務員の取り巻く現状と課題、今後のあるべき発注者としての役割と責務について当事者たちへのヒアリング結果から得た成果を報告する。

<発表内容>

1. 研究の背景と目的
2. 技術公務員を取り巻く問題の整理
ヒアリングによる確認した問題を特性別に分類して報告
3. 問題発生の背景の整理
ヒアリング結果に基づき、問題発生の背景を学識者3名が分析して報告。なお、学識者には官経
験者(30余年)ならびに建コン経験者(10余年)が含まれている
4. 今後の予定
上記の背景の整理に加え、今後、学識者がまとめる改善方策についてヒアリング協力者に再ヒア
リングを行い、本委員会としての成果をとりまとめる予定

**発注者としての技術
公務員の役割と責務
研究小委員会
(第2種)**

村岡 治道(岐阜大学)、野口 好夫(名古屋工業大学)、鈴木 弘司(名古屋工業大学)

16:15~16:35

大規模災害時における地場業者の貢献と課題について

<テーマのポイント>

大規模災害発生時における地場建設業者や測量設計業者の対応について、その実態と課題について報告する。

<発表内容>

総合評価等に係わる地場企業の地域貢献度の具体的な参考とすべく、平成24年7月の九州北部豪雨災害時における地場業者(建設業、測量設計業)の災害対応についてアンケート結果をもとに整理し、その実態ならびに今後の課題を抽出して報告する。とくに、支援協力における企業の経営面からの課題や指揮系統の不備に起因する非効率性などを取り上げ、今後の大規模災害時における官民連携による災害対応のあり方について述べる。

地方の公共工事における入札契約方式に関する研究小委員会

牧角 龍憲 (九州共立大学)

(第3種)

16:35~16:55

建設マネジメント力の評価手法の開発に向けての取り組み

<テーマのポイント>

発注者、コンサルタント、施工者の建設マネジメント力を測定する評価シートの提案と、その施行結果の報告

<発表内容>

建設活動の実践の場で生じる様々な事態に適切に対処する能力（「建設マネジメント力」）の保有状況を把握するため、コンピテンシーモデルに基づく評価シートを開発し提案した。

これを、アンケートとして各分野の技術者（約200人）に試行的に活用してもらい、その結果を踏まえ評価シートに対する意見等を取りまとめた。

発表では、評価シートとアンケート調査の結果（一次集計）について報告する。

建設技術力研究小委員会（第3種）

木下 賢司（株式会社 熊谷組）

16:55~17:25

『公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン(仮称)』の出版に向けた研究成果中間報告

<テーマのポイント>

土木分野へのデザインコンペの導入・普及を目指して、来年4月に発注者向けの実施ガイドラインを出版予定であり、その検討の概要について中間報告を行う。

<発表内容>

1. 活動の背景と目的
2. 法的環境の整備（改正品確法）
3. 編集方針
4. ガイドラインの構成
 - (1) 原論編
 - (2) 共通編（基本事項、コンペの各方式、著作権等）
 - (3) 実施編（実施に向けた具体的なノウハウ）
 - (4) 分野別編（分野ごとの配慮事項）
 - (5) 資料編（要項書式等、事例集）

公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン研究小委員会（第3種）

久保田 善明（京都大学）

17:25~17:35

閉会の挨拶：運営小委員会 今村 博行 小委員長



■問い合わせ
:公益社団法人 土木学会
研究事業課 建設マネジメント委員会
担当 丸畑

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内
TEL:03-3355-3559
E-mail:maruhata@jsce.or.jp

